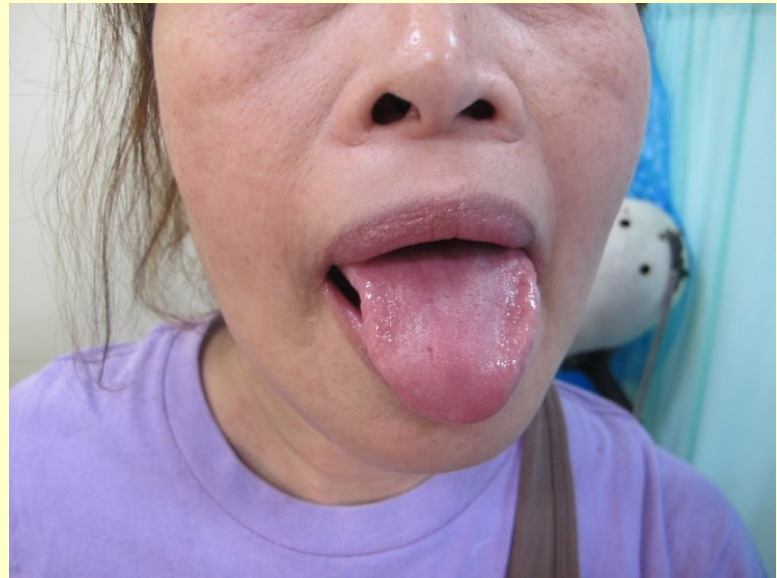


I · T



I . T



Y・K 女性 54歳 149cm 40kg

初診: HX年6月末

既往歴: AD3歳からあり

現症: 全身紅皮症にて来院(紹介)、全身倦怠

BD90/40→110/20 尿利5~6回、閉経40歳、

このころバセドー氏病、便秘(一)普通便、冷え性

円形脱毛症6ヶ、不整脈、動悸(+)

腹証: 臍上悸、両下腹部圧痛

舌証: 紅、白黄苔

治療: 猪苓湯5.0g 三物黄・湯5.0g 辛夷清肺湯2.5g 2週間

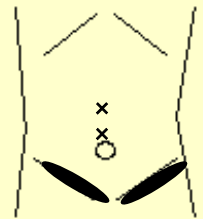
皮膚炎は上部は治癒、下肢に下ってくる膀胱炎の発生

くり返す。尿中潜血(+)となる。

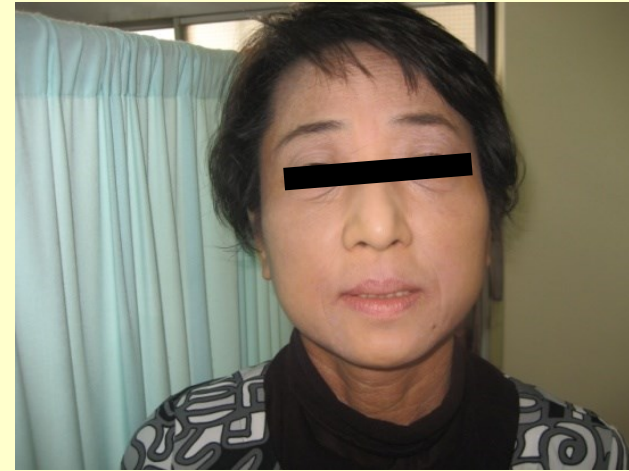
猪苓湯合四物湯5.0g 補中益気湯5.0g 8週間 動悸の時

猪苓湯合四物湯5.0g 温清飲5.0g 4週間 炙甘草湯5.0g

頓用



Y·K





Y·K



足厥陰肝経

干は敵から身を守る盾であり、国王みずからひとり盾を持って戦う最後の病邪との戦いであり、死と隣りあわせの症状である。

「血分」であり、構造的疾患で末期段階の血液症状、悪疫質、長期起床不能などの症状を有する。薬物帰経が肝経のものは、内外分泌の調和、心臓や肝機能の調整、造血機能生殖機能の調整、男女生殖器の正常化、止血作用、解毒作用、自己免疫機能の正常化などの効果を与えることができる。

症状で云えば、起床不能、意識不明、発狂、てんかん、運動不随、筋萎縮症、無月経、崩血(漏)、常時出血(吐血、血便、血尿)、両便失禁、尿崩、便秘、絶症の皮膚疾患(膠原病、ベーチェット病、等)などが該当する。しかし、医学常識から云って、このような重症者は、たとえ方剤と証があったとしても、簡単に治せるものではない。

I M 女性 74才 150cm 41kg BD118/60

初診:X年10月3日

主訴:薬疹(汎発性)紅皮症(全身) 逆流性食道炎 全身倦怠 腰痛

現症:寝つき寝起き(普通)水分1.5ℓ 口渇(一)尿利6~7夜2

便秘(+)2~3日1回硬い

頸部が赤くなり、今年の7月頃、全身紅班 紅皮症 びらん

皮膚がむけて一部湿潤 食欲不振 やせ型 うつ傾向

27才 虫切 10年間 コレステロール↑内服治療

胃力メラで表層胃炎 十二指腸ポリープ 体質的に胃の動きが弱く胃酸過多気味

既病歴:閉経53才 現在、主婦だが20才~48才まで幼稚園で働いて

いた。(保母)6年前より四肢浮腫 紅班

8月19~9月1日まで某大学病院に入院

腹証:両胸脇苦満・両腹直筋緊張・臍上悸・振水音

舌証:

治療と経過:十全大補湯5.0g 柴胡桂枝湯5.0g 1週

十全大補湯5.0g 清暑益気湯5.0g

サフラン0.5g 1週

十全大補湯5.0g 清暑益気湯5.0g

サフラン0.5g 4週

皮疹減 紅班→色素沈着となる

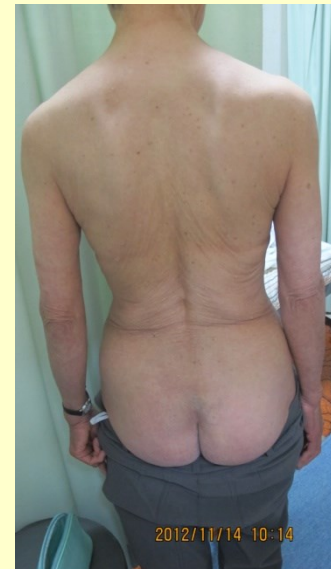
全身に気力回復 大変楽になる BD126/70

食欲が出て便量が増し便秘はよくなる

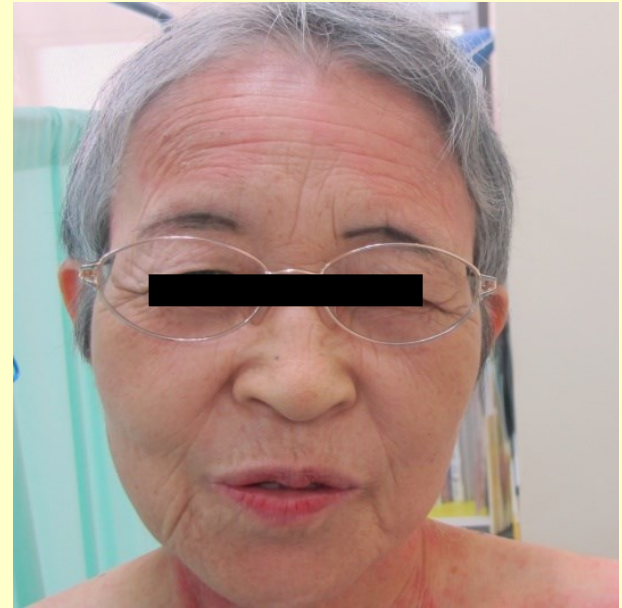
前医処方:プラバチン リポザート マイバスチン オメプラール セレコックス

投与され内服してた。

I M



I M



S M 絵描き(水彩画) 20才 150cm 43kg BD98/40

現症:AD 胃腸虚弱 便秘症 手足多汗症 動悸 息切れ 不整脈 低血圧

IBS

寝つき寝起きよい 水分1.5ℓ 尿2~3 口渇(+) 便秘気味 普通便

生理28日5日間 痛み(-)量普通

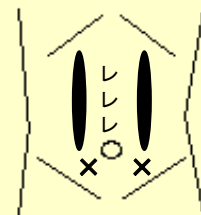
両手掌背~上肢全体へ紅班 苔癬 痒み(+) 下痢(+)

全身紅班 乾燥

検査:パッチテスト UVテスト(10秒)

舌証:紅 湿

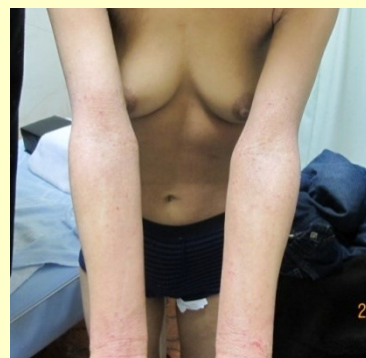
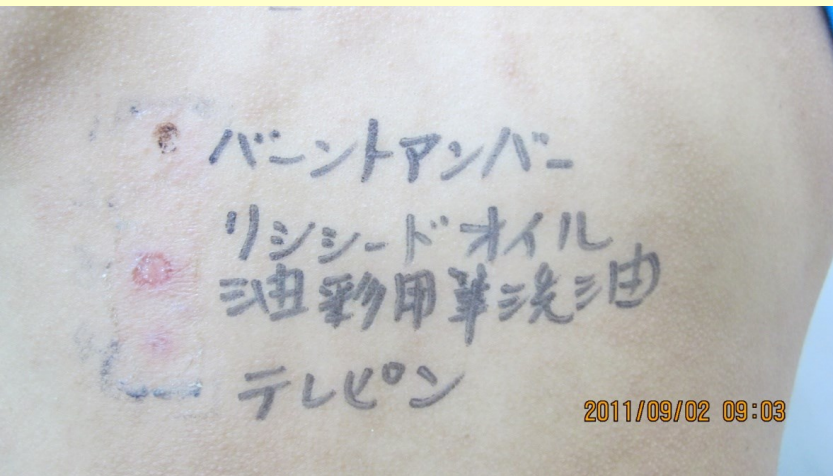
腹証:両腹直筋緊張 臍上悸 両下腹部圧痛



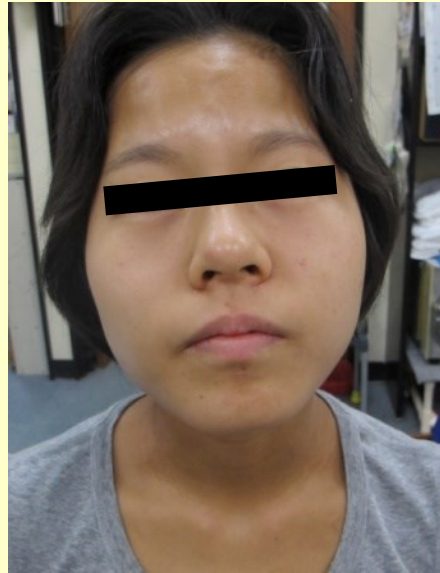
治療と経過:四物湯5.0g 温清飲5.0g 4週

麻黄附子細辛湯2.0g

S M



S M



Y M 女性 52才 146cm 47kg BD118/80 職業:教員

主訴:AD 子宮筋腫 貧血 冷え性

現症:AD幼児期よりあり種々加療す

貧血症、月経不順、結婚後 子宮筋腫があるが不妊の治療した。
足冷え(卅)

3年前 筋腫部分切除の手術施行 その後再発し大きくなる
更年期ごろになり幼少期に発症した両下腿(膝 足首)骨の突起が著明になり
痛みをともなり起行となる

月経不順持続

寝つき 寝起きよい 水分2ℓ 口渇なし 尿利6~7回 夜間なし

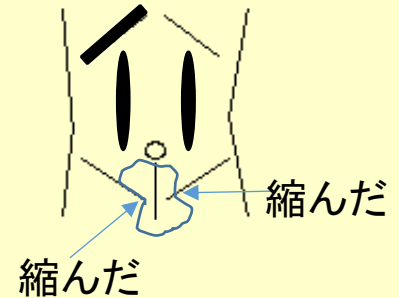
舌証:紅 薄い白苔

静(+)

腹証:

検査:

肝機能		
GOT	19	25
GPT	11	10
γ-GPT	12	14
ALP	188	151



治療と経過: 芍婦調血飲 4. 0g / 6W 滋陰降火湯 2. 5g 夜

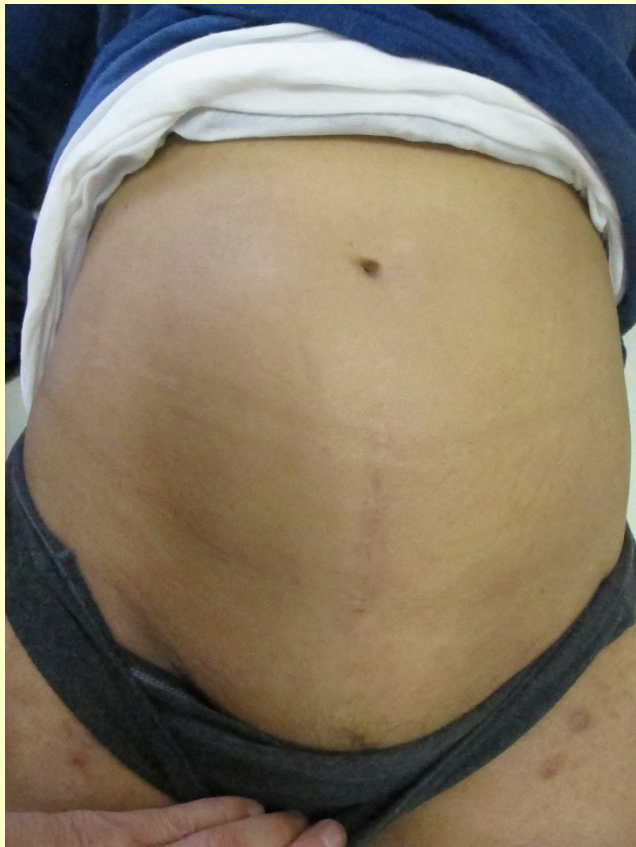
黄連解毒湯 6CP / 7T

滋陰降火湯 5. 0g ザイザル 1T

芍婦調血飲 4. 0g / 6W

筋腫縮小し両下腿の変形が

ほとんどよくなり起行もなく歩行できる





K T 主婦 女性 44才 160cm 51kg BD122/60

主訴: 冷え性 生理不順

現症: ADで加療中 3年前より冷え性 胃痛 胃もたれあり 当帰芍薬散服用
40歳で結婚 人工授精にて妊娠
43歳 正常分娩 男児(3500g) 混合栄養
出産後 体力低下 神経症となる 全身経度倦怠感あり
圧迫部の痒みあり
寝つき 寝起き悪い 水分1ℓ 口渇なし 尿利5~6回 夜間1回
便秘(+) 軟便

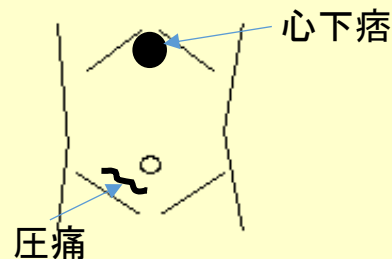
既往歴: キクチ病 貧血

舌証: 紅 薄い白苔 静(+)

腹証:

肝機能		
GOT	14	12
GPT	13	10
γ-GPT	12	14

検査:



治療と経過: 芍婦調血飲 6.0g 消風散 5.0g / 4W 無事出産し産後・婦調血飲服用
ザイザル 1T

補中益気湯 5.0g 芍婦調血飲 4.0g / 8W 出産後の体力低下 神経症も
ザイザル 1T よくなり、生理も順調になる
親子とも元気である



《 まとめ 》

人間の成長と老衰において

成長期は、肝経→腎経→脾経へと気は成熟していく。

老衰期は、脾経→腎経→肝経へと気は衰退していく。

例として、栄養調節である脾経と脾土について述べた。

脾は、「運化を主る」と言われる。

脾は胃の協力により飲食物を消化吸収して、三宝(神・気・精)に作り変え配分し、神は脳、気と精は腎に移行し全身に流通する。

脾土は、生体の秩序を保つ**気**を外部補給の飲食によって維持する。
その為、脾土が健全でないと生体は維持できない。

脾には、脾経(生命衰弱:生体状況段階層)と脾土(五行蔵象の症状群)に分類される。